

要請番号 (JL32718A16)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ペルー	H112 言語聴覚士		個別	新規	2年	・ 2018/3 ・ 2018/4 ・ 2019/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

ピウラ州政府

2) 配属機関名 (日本語)

特別基礎教育センター「トリエステ」

3) 任地 (ピウラ州ピウラ市) JICA事務所の所在地 (リマ市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (飛行機 で 約 1.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先である「トリエステ」特別基礎教育センターは、ピウラ州政府が持つ一つのプログラムであり、イタリアに本部があるNGO(イタリア・ペルー協力協会)がピウラ地域教育局の支援を受け、2017年4月から同市にある小学校の2教室を借りて、0-5歳までの聴覚障害を持つ幼児を対象に指導し、声を出す、発音する、言葉にする訓練を行っている。現在1歳から4歳までの幼児8名が言語聴覚士2名のもと訓練を受けている。年間の予算は3,000米ドルであり、その大部分は人件費である。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

ピウラ州には、聴覚障害を持つ児童が手話を用いて教育を受ける教育機関(5-11歳)はあるが、就学前の幼児を受け入れる場所はない。聴覚障害を持つ幼児にとって重要なのは、できるだけ早く、聴覚障害を持っているかが診断され、適切な訓練を受けることである。しかし、その診断を受ける機会が少なく、また、適切な診断がなされず、2-3歳になって、ようやく、聴覚障害をもっていることが判明する場合が多い。配属先は、的確な早期診断と適切な訓練の実施が急務と考え、ボランティアの協力を得て、保健所等が実施する乳児の集団健康診断へ赴き、診断し、聴覚障害と診断された乳幼児を対象にその親と一緒に、感覚に刺激を与え、一人でも多くの子供たちが声を発するように指導し、ピウラ州の聴覚障害乳幼児の対応の遅れを改善したいとしている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

配属先の教師と一緒に

- 言語聴覚士として、乳幼児を対象に聴覚障害の診断を行う。
- センターの教室や他県において、聴覚障害を持った乳幼児(補聴器付けている)に聴覚訓練を行う。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

Tympanometer(Oscilla, 型:TSM400), Accu Screen OAE & ABR Screener(Otometrics, U2-Draft1)

4) 配属先同僚及び活動対象者

センター長(聴覚言語士、50歳代、女性)
イタリア・ペルー協力協会(聴覚言語士、50歳代、女性)
教師(言語士、40歳代、女性)

5) 活動使用言語

スペイン語

6) 生活使用言語

スペイン語

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：(言語聴覚士)

[学歴]：() 備考：

[性別]：() 備考：

[経験]：() 備考：

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(ステップ気候) 気温：(15～35℃位)

[電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(安定)

【特記事項】